

なかしべつ 議会だより

No.125
令和2年4月



「第34回 中標津合唱祭・雪どけ」

2月23日に開催されました根釧原野に春を告げる中標津合唱祭「雪どけ」は、今年も子供から大人まで多数の参加で「しるべつとホール」に見事なハーモニーを響かせました。

令和2年度各会計予算を議決しました (P2)

予算審査特別委員会の議論 (P3～4)

3月定例会「補正予算」等 (P5)

3月定例会「一般質問」 (P7～9)

議会改革特別委員会 (P11)

予算審査特別委員会

前年度比0.4%減

各会計総額予算 262億6,400万1千円

一般会計 140億8,000万円

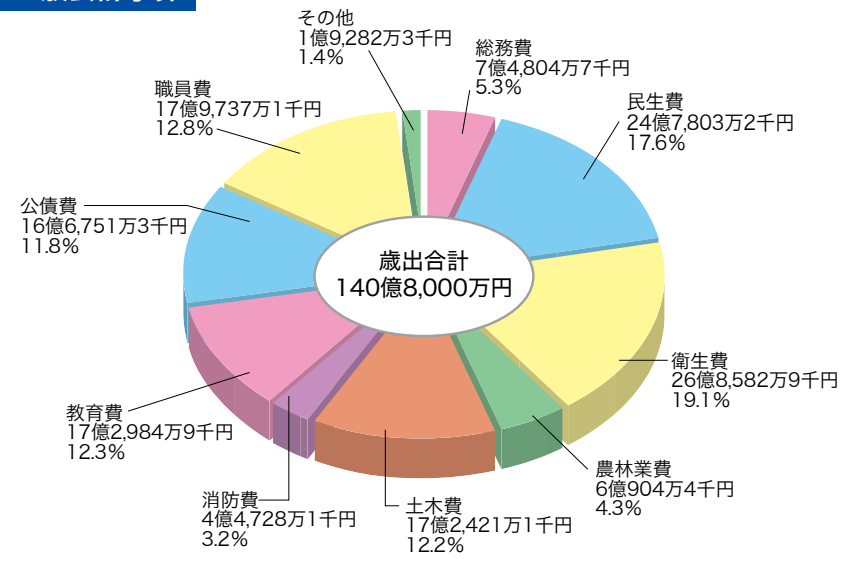
特別会計 63億8,426万7千円

公営企業会計 57億9,973万4千円

令和2年度一般会計予算、各特別会計予算、企業会計予算、ならびに関連する条例制定等については、予算審査特別委員会（佐藤武志委員長）に付託されました。

委員会は3月3日・4日・9日の3日間にわたり開催され、慎重かつ熱心に審議が行われました。3月12日定例会最終日に、結果報告、質疑、討論となり、飯島実議員、上原房子議員が賛成討論を行い、採決の結果、賛成多数により、原案どおり可決されました。

一般会計予算



主な事業

○旧JR標津線鉄橋解体事業（武佐南6線川橋）	30,000千円
○知床・地方版図柄入りナンバープレート導入事業	280千円
○日本語学校誘致・共生社会推進事業	1,825千円
○コミュニティセンター等整備事業（西町わんぱく児童館解体・西児童館を旧泉保育園に移転・東中なかよし児童館屋根改修等）	20,240千円
○旧清掃センター等解体事業（旧開陽清掃センター・北進台公衆便所）	234,817千円
○私有林等整備促進事業（森林環境譲与税活用の森林経営管理事業等）	3,014千円
○広陵中学校長寿命化改良事業	68,835千円
○中標津農業高等学校体育館改築事業	350,153千円
○文化財保存活用地域計画作成事業	3,916千円
○町立中標津病院施設省エネ推進事業（病院照明LED化・水道施設節水システム導入）	7,491千円
○町立中標津病院経営改善支援委託（経営改善に対する現状分析と方策について外部委託）	12,316千円

関連する条例の制定・一部改正等

- 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について（町長、副町長、教育長の給与月額15%の減～令和3年3月31日まで）
 - 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について（管理職の給与月額5%の減～令和3年3月31日まで）
- 他 7 件

令和2年

予算審査特別委員会 一問一答

総務部所管

◆大学交流推進事業について

【質問】

参加した学生が継続的に本町に対し興味関心をもってもらうように、町広報誌や各種パンフレット等を一年間送付するだけなのか、他に取り組みは検討しないのか。

【答弁】

パンフレットを送付する以上の取り組みは考えていない。

【質問】

大都市に住む住民の視線で、例えば「企業版ふるさと納税」のパートナーを見つけるなど、本町の交流人口を飛躍的に拡大することに繋がると思うが、事業拡大の予定はないのか。

【答弁】

現状の事業を続けていく中で検討していく。

◆公債費について

【質問】

町財政の厳しい状況を理解する上で重要な部分であると思うが、今後の推移を説明願いたい。

【答弁】

今後の借り入れ金額を一般会計全体で令和2年度予算額と同程度の15億円程度として推計すると、令和6年度をピークに増加する見込みとなっている。

過去に借り入れた総合体育館・計根別学園等建設費に加え、新たに除雪機械格納庫・農業高校体育館建設費等で元金償還額は18億5千万円程度で、本年度の元金償還額と比較すると、3億円程度の増加が見込まれる。

町民生活部所管

◆無料法律相談開設経費について

【質問】

近年の利用状況と、当

町には複数の弁護士事務所が開設していることから当初の役割は終えたと考えるべきではないか。

【答弁】

平成29年度6回実施し相談件数37件、平成30年度6回実施し相談件数30件、令和元年度3回実施し相談件数13件で、本年度は昨年同様3回を予定している。

事業廃止については、今後、高齢者など資力の無い方の増加も考え、法的トラブル解決の窓口として継続していきたい。

◆コミュニティセンター等整備事業について

●西町わんぱく児童館解体工事

【質問】

西町の児童館を2年4箇月間休止し、その間地盤沈下の調査が実施された。

それ以前に西町町内会で、会長・役員の意見として「仮に取り壊しがさ

れても西町の児童館を廃止しないで欲しい」との考えを担当者へ通告していたが、町長は解体し東中児童館（なかつし児童館）にその機能を集約すると示された。

結果として修繕の方針はほとんど検討されず、解体を結論化しているのではないか。

【答弁】

現在、学校区に児童館は一つが望ましいと考えられており、今後のあり方についてはしっかりと議論した上で、児童館の場所と設置について検討していく。

【質問】

2年4箇月間休止して調査した西町児童館の解体に至った沈下の原因は何だったのか。「地震の影響」「設計が悪かった」「工事施工が悪かった」など原因を明確にしてから取り壊すべきではないか。

仮に地震が原因なら「地震保険」が適用されると思うが。

【答弁】

沈下については様々な原因が考えられるが、十分な基礎地盤の調査をしなかったのも原因の一つと推定できる。

●旧泉保育園土地建物購入費について

【質問】

土地建物合わせて約4千万円で、土地開発基金で購入するところがあるが、予算歳出を公有財産購入費で、予算歳入を基金からの繰入金で予算書に計上しない理由は。

【答弁】

土地開発基金は基金の性格上、予算を通さないで基金の繰り入れができる基金なので予算計上していない。

◆泉保育園建設借入金償還事業補助について

【質問】

債務負担行為として記載しているが、毎年町が償還金3千535万2千円を10年間支払う計画で、木造の耐用年数22年ではなく鉄筋コンクリートで耐用年数47年の償還を10年で償還するのは無理があるのではないか。

【答弁】

償還を長くすれば利息が多くなる。他の起債とのバランスを考慮し、今後の事業計画を勘案して償還期間を設定した。

◆特定不妊治療費助成事業について

【質問】

北海道の特定不妊治療助成に対し町が上乗せし助成しているが、制度利用者の状況と個人負担額を説明願いたい。

【答弁】

件数として年間10件前後で推移している。個人負担額は10万円弱程度だが、治療によって差が大きく、これまでの申請で100万円から160万円の方も何件がある。

経済部所管

◆牛乳消費拡大推進委員会負担金について

【質問】

昨年度より予算削減した理由を説明願いたい。

【答弁】

昨年度、北海道の地域づくり交付金の採択を受け、委員会経費の繰越金等により令和2年度の運営に支障が無いと判断し減額した。

◆新規就農者育成支援事業について

【質問】

大幅な予算縮減の原因は新規就農の対象者が無かったこの事だが、今後の対応は。

【答弁】

本年度は2件の法人の新規就農を予定しているが、まだJA組合員の資格が無いので、令和3年度を目処に本事業の予算計上を検討していく。

また新規就農のPRについては「農業人フェア」を道内外で展開し新規就農者の開拓を図りたい。

◆日本語学校誘致・共生社会推進事業について

【質問】

岩谷学園誘致の進捗状況と、留学生への財政的支援の検討について

【答弁】

学校の許可申請については、3月に法務省出入国在留管理局の申請を、既に事前計画が了承済の北海道私立学校審議会については9月までに本申請を提出の予定。

岩谷学園の中標準事務所への職員配置は現在1

名から4月に1名増員、5月に2名増員を図る予定である。

また、本町として一般財源を投入して留学生の生活を支援していく予定はない。

建設水道部所管

◆道路整備事業等の「一時事業休止」について

【質問】

「武佐南7線道路」「りんどう町北8号道路」「ポントワラ川改修事業」の3事業が本年度一時休止になっているが理由は何か。

【答弁】

行財政健全化緊急対策方針に基づき、各課単位とした予算要求可能額の上限設定に対し緊急度・優先度を検討した結果「一時休止」とした。

◆大規模盛土造成地変動予測調査事業について

【質問】

前年度までの調査で町内には11箇所の大規模盛土がありHPで公表されているが、今後の調査で

危険箇所が判明した場合の対応は。

【答弁】

本年度は第2次調査実施計画を策定し、さらに詳細に危険箇所の検討を行う。

危険箇所の指定等は令和3年度以降に対策工事も含め検討していく。

◆空家対策事業について

【質問】

空き家対策と移住促進などは、企画課を中心に関係部局が広範囲に連携していく必要があるのは当然だが、一定の方向性を示せるのか。

【答弁】

空き家実態調査を実施した都市住宅課として調査結果を踏まえ、札幌市の空き家対策ネットワークや関係するNPOなどと連携し、講師を招聘した講演会等を開催するなど、空き家問題に対し住民と情報共有していく。防犯・防災・移住促進・景観など多岐にわたるが、町全体で取り組むべき事項であると認識している。

教育委員会所管

◆中標津農業高校のバス通学について

【質問】

本年度の新入学生徒数が昨年同様に増加の傾向であり、通学バスの乗車数、運行に影響はないのか。

【答弁】

本年度は全校生徒113名のうち73名程度が中標津より根別間のバスを利用すると推定している。

中標津バスターミナル始発の6時57分の一便と、7時30分発の二便の分乗で対応可能と判断している。

◆文化財保存活用地域計画作成事業について

【質問】

新博物館建設、地域計画、それに係る住民説明会についてどのような考えで進めるのか。

【答弁】

文化財保存活用地域計画については、今後設置する策定協議会で決めていく。

以前から話題のある

「道の駅」の選択肢も含め今後3力年かけて十分協議していきたい。

また、住民説明会についてはフォーラムのような形で住民との意見交換や進捗状況の説明を行っていく。

町立病院所管

◆病院施設省エネ推進事業について

【質問】

現段階における病院照明LED化及び節水システム導入の施設整備スケジュールと費用対効果は。

【答弁】

病院照明のLED化については院内照明器具約4千本と推定、駐車場照明も含め予定している。

本年度10月から半年間のリースでスタートする。

レンタル料が5年間で6千9百万円ほどかかるのでランニングコストとしての節減は令和14年度（13年後）から実質節減を見込んでいる。

節水システムは院内のシャワー20個、蛇口95個を節水型に取り替え、年間水道料金で約116万円、熱源のA重油で42万円の削減を見込んでいる。



予算審査採択の様子

3月定例会 全議案可決

令和2年3月定例会を3月2日から12日まで開催。以下の議案について審議し、議決しました。

■令和元年度中標津町各会計補正予算

◇一般会計補正予算（第5号）

9億333万2千円を追加し、総額157億7,508万5千円となりました。

補正内容 生活交通路線維持費補助金、公的介護施設等基盤整備事業補助金、施設型給付費負担金、特別会計等繰出金、畜産・酪農収益力強化整備等対策事業補助金（畜産クラスター関連事業）・一般枠 ほか

◇国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

25万4千円を追加し、総額27億2,725万8千円となりました。

◇後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

642万8千円を追加し、総額2億7,279万4千円となりました。

◇介護保険事業特別会計補正予算（第4号）

5,458万7千円を減額し、総額15億3,027万1千円となりました。

◇町営牧場特別会計補正予算（第2号）

320万円を減額し、総額7,131万8千円となりました。

◇下水道事業特別会計補正予算（第2号）

1億3,877万1千円を減額し、総額8億6,971万5千円となりました。

◇簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）

1,036万円を減額し、総額4億3,558万4千円となりました。

◇水道事業会計補正予算（第2号）

1,036万6千円を減額し、総額9億8,397万4千円となりました。

◇町立中標津病院事業会計補正予算（第2号）

2,984万7千円を追加し、総額48億5,399万6千円となりました。

■条例の一部改正

◇中標津町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について
（議員報酬減額5%～令和3年3月31日まで）

他14件

■承認

◇専決処分承認を求めることについて

一般会計補正予算（第4号）除雪委託料を5,000万円追加

一般会計補正予算（第6号）除雪委託料を4,000万円追加

一般行政報告

一、北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会の要請活動

2月7日、根室市で開催された2020「北方領土の日」根室管内住民大会に出席のため、中谷外務大臣政務官が来根した際、2月17日、参議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会の7名の委員が北方領土及び隣接地域の諸問題等に関する実情調査に来根した際、根室市で開催されました行政関係者等との懇談におきまして、北方領土返還要求運動、隣接地域における振興対策、北隣協と北方四島の新たな地域間交流など、共同経済活動の着実な進展を要請しました。

翌日の2月18日には、町立中標津病院の視察訪問の際に、北方四島医療支援事業でのロシア人患者の受け入れと医師・看護師が不足している現状を訴え、病院経営に係る脆弱な医療基盤に対する支援を議長と共に要請しました。

二、中標津空港利用促進期成会としての要請活動

1月10日、全日本空輸株式会社東京本社を訪問した際に、

社長ほか役員と面談し、令和2年の夏季間における東京・羽田便での中型機の運航継続を要請し、同日に株式会社フジドリームエアラインズ名古屋本社を訪問し、昨年に引き続きチャーター便の運航を要請しました。

三、医師の継続派遣に係る要請活動

1月9日から15日にかけて、道内各医科大学等に対し、町立中標津病院の現状及び診療体制の報告、地域医療が抱える課題等について意見交換を行うとともに、地域医療の確保をはじめ地域センター病院としての診療科の確保を図るため、医師の継続派遣について要請を行いました。

四、寄贈金品について

12月定例会後に、物品で6件、現金で2件20万円、ふるさと納税で2千694件5千720万円の寄附金があり、企業版ふるさと納税は、令和2年2月27日現在で7件160万円の寄附金がありました。寄贈金品を寄せられました方々に、改めて深く感謝を申し上げます。

教育行政報告

一、小中学校の各種大会等出場結果について

1月11日から釧路市で開催されました「第50回北海道中学校スケート大会」に町内の生徒9名が出場し、中標津中学校から2名、広陵中学校から4名が全国大会への出場権を獲得、2月1日から長野市で開催されました「第40回全国中学校スケート大会」に出場し、広陵中学校3年女子が3000mで3位の成績を収め、広陵中学校2年男子が1500mで7位の成績を収めました。

1月18日から阿寒湖で開催されました「第42回北海道スノーシュー少年団スピードスケート競技大会」に中標津スピードスケート少年団22名が出場し、丸山小学校6年男子が500mで2位、同校3年女子が500mで3位、中標津東小学校3年男子が1000mで3位、広陵中学校3年女子が1000m・1500mで優勝、同校3年女子が500m・3000mで優勝、同校2年男子が3000mで3位の成績を収めました。

1月10日から芦別市で開催されました「第46回北海道ジ

ュニアバレーボールキャンプ兼第40回北海道中学生バレーボール選抜優勝大会予選会」に広陵中学校バレー部が出場し優勝しました。

二、農業高校の各種大会等出場結果について

昨年11月22日に札幌市で開催されました「第54回全道高校郷土研究発表大会」の郷土芸能部門で、中標津農業高校太鼓局が5年連続で優良賞を受賞しました。

また、10月21日に内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局及び内閣府地方創生推進事務局が主催する「SDGsまちづくりアイデアコンテスト」に中標津農業高校の農産物加工研究班が、応募総数186作品の中から優秀賞に選ばれ、11月9日に「地方創生ワカモノ会合in名古屋」において行われました表彰式に出席し、プレゼンテーションを行いました。

1月16・17日「第68回北海道学校農業クラブ連盟実績発表大会」が中標津町総合文化会館を会場に開催され、当番校の中標津農業高校は生徒16名が4部門全てに出場し、「生産・流通・経営」と「クラブ活動発表」の2部門で最優秀賞を受賞、他の2部門に

おいては優秀賞を受賞して全部門で全道大会の出場権を獲得しました。

全道大会は、1月30・31日に旭川市で開催され、出場した4部門のうち「生産・流通・経営」と「クラブ活動発表」の2部門で優秀賞を受賞しました。

三、各賞受賞について

昨年11月、公益社団法人読書推進運動協議会が主催する、「優良読書グループ全国表彰」において、本町の読み聞かせサークル「おはなしの木」が、根室管内としては初めての受賞となりました。

「第72回優良公民館表彰」において、中標津町総合文化会館の受賞が決定し、2月14日に東京都文部科学省第2講堂で表彰式が行われました。

「文部科学大臣優秀教職員表彰」は、優れた成果を上げた教員を表彰するため、平成18年度から実施されております。

今年度は、国立、公立、私立の教職員825名と、教職員組織48組織が受賞し、北海道教育委員会から推薦された丸山小学校教員1名が教職員部門での受賞となり、1月14日、東京大学、安田講堂において表彰式が行われました。

質問 新型コロナウイルス感染まん延と町の対応について

答弁 必要に応じた的確な対応をしてまいります

佐藤 武志 議員

質問

知人の高齢者が中国の旅行者が町に来ているので不安だと話をされたのに対して、中国の安全な地域からきていけるのではと説明しました。

2月28日現在で、国内感染者が500人を超えており、市中感染の状況になっています。

もし、中標津で多数の感染者が出た場合、隔離を町立病院では収容が難しいが、どのような対応をするのか、さらに感染者に対応するため防護服等も用意しなければなりません。

また、ウイルス症を対象に防止計画が必要になつてきますが町長の考えをお聞きます。

町長答弁

北海道内では、2月24日現在30人が発症しており、近隣では根室市1人となっています。

北海道においては、2月25日に感染症対策チームを設置し、市町村等の連携を強化し、感染者対策を行っています。

また、道教委が2月27日～3月4日まで小中学校を

臨時休業としています。

町立中標津病院では、保健所の紹介を受けた方を一般の診療とは別な場所で見察し、感染防止に努めています。

町では、対策会議を複数回開きチラシの全戸配布、役場ホームページ、FMはなで町民への周知をはかっています。

対策内容は平成26年に策定の中標津町新型インフルエンザ等対策行動計画に基づいています。

医療体制を維持する・健康被害を最小限に抑える・町民生活及び地域経済への影響を最小限に抑えることを目的に対策を講じる必要があります。町民の安全・安心を第一に、必要に応じた的確な対応をしてまいります。



質問 知床ナンバー開始に合わせた広域の式典と交流レベル引き上げの研究について

答弁 「ひがし北海道」全体の発展を圏域として求めてまいります

松村 康弘 議員

質問

今年いよいよ知床ナンバーの車が走り出します。この地域の歴史的エポック（出来事）を住民一人一人に実感を持っていただくための式典やイベントの研究、そして知床の山並みの北側までの自治体を含む、自治体間、住民間の広範な交流の研究が求められています。

近隣の標津町においては旧駅舎の転車台にC-11機関車を電動で動かシイルミネーションで飾っています。

近隣の町の振興は結果として我町に帰ってくるのですから、この際丸山公園にあるC-11を提供し2重連の勇姿を実現してみてもと考えています。

一方で、誰も橋の上から魚影を探す事もなくなった標津川にシマフクロウの生存が持続する環境を再現する試みを通して、知床の価値を積極的に発信できる機会が当来していると考えますがいかがでしょうか。

町長答弁

根室・オホーツク管内7町による知床ナンバー協議会において交付式典開催に向け準備を進めており、フルカラーのナンバープレート交付によって得られる寄付金の利活用も検討しているかなと思います。

「食」と「観光」に関し高いポテンシャルを有するこの地域が、その価値を意識して積極的に発信していく事が、この地域「知床」における自然保護と観光を両立し、後世にしっかりと引き継いでいく事になると考え、ご指摘いただいたC-11についても、標津川、その上流部におけるシマフクロウの生存可能領域の保全などについても、これを機会に研究してまいります。



質問 地域における医療連携について

答弁 管内首長と協議しながら検討します

江口 智子 議員

質問

昨年、病院の近未来を検討する特別委員会に取りまとめた「提言書」における、経営コンサルタントをこの度採用され「医師を含めた全職員の経営への意識改革と経営改善を図る」との施政方針を伺い、抜本的な改革がなされることを心から期待します。

外来・入院ともに3割程度で推移している町外の患者にも、地域センター病院として安定的かつ継続的に切れ目のない医療を提供するため、院長とどのように統一見解を取りまとめ、近隣病院との協体制度を築かれる計画かについて伺います。

町長答弁

近年、町立中標津病院は収支の悪化により一時借入金による決算が続いていることから経営コンサルタントを導入し、専門家の意見を参考にしながら病院の役割や運営方針について検討し、近隣病院との医療連携を深めてまいりたいと考えています。

医師の派遣元が様々であ



り経営形態も異なることから、経営統合のハードルは高いものの、将来病床をグループ化するような連携ができるようになれば、その効果は大きいと考えます。

再質問

病床グループ化について、今後の協議の進め方はどのような方針が質問します。

町長答弁

現在のところ、各町の考え方の違いが大きいことから、北海道が主催する根室圏域地域医療構想調整会議での議論を深めることも、管内首長と協議する場の設置などを検討してまいります。

質問 児童館2館の移転と住民周知について

答弁 中長期的展望で建設計画を進めていかざるを得ない

高橋 善貞 議員

質問

西町児童館（わんぱく児童館）は、アリーナ部分の基礎に沈下が発生し、安全確認の追跡調査のため、児童館利用者と関係する町内会のみ事情説明し、平成29年11月から現在まで2年4ヶ月間休館しております。

休館中、子供達は西町児童館から2.7km離れた東中児童館（なかよし児童館）を利用しておりました。

今3月定例会において西町児童館の解体が提案されますが、児童館の利用者（現在の西町から東中児童館に通う児童関係者）と関係する西町町内会・川西町内会、開陽・保落連合会、さらに、これから子育てしていく住民と、町内会に入会していない住民に対してどのように説明し理解を求めていくのか、取り壊し後に西町児童館を再建設する考えはあるのか、町長のお考えをお伺いいたします。

現在の「西児童館」からさらに西へ「旧泉保育園」まで700mの移動に対して、今後の利用者を含めた住民に対してどのように情報提供をしていくのか、特に危惧するのは旧泉保育園近隣の住民で、保育園と児童館では今までとは全く違う

利用の時間帯になり、早急な住民説明が必要だと思います。

この児童館2館について、現在策定中の「（仮称）第7期中標津町総合計画」で具体的な方向性を示すべきだと思いますが町長のお考えを伺います。

町長答弁

児童館の閉館、移動については現在の利用者以外で、保育園・幼稚園のほか広報誌掲載等の周知を図っていきます。

児童館の果たす役割、その必要性は十分認識しており、子供達のために施設整備は重要かつ緊急な課題と位置づけているが、財政的状况もあり知恵と工夫で利用できるものは活用し、中長期的展望で建設計画を進めていかざるを得ない時期であると考えています。



質問 通学路の街灯について

答弁 地域の意見を取り入れながら研究していきます

佐野弥奈美 議員

質問

中学生議会の中でたびたび通学路の街灯の質問があり、子供達にとつて大きな問題だと思いました。

通学路として利用している道は、大きな通りではなく自宅に近い道路だったり、冬場は16時ともなれば暗く雪により歩道も狭く危険度が増します。

街灯は電気を使用することから電柱に取り付けの必要があり難しい点もあるかと思いますが、ソーラーを利用した人感センサーで子供達が通った時だけでも点灯するようにすると電気代の心配もないと思いますがいかがでしょうか。

町長答弁

ソーラー式の防犯灯は電柱のない場所に新たに設置をする事で、暗い箇所を減少させることは有効であると考えますが、公道に設置であれば耐久性も必要であり、現在設置している防犯灯と比較するとソーラー式の方が設置費用、維持費が高額になるものと考えており、平成20年に150箇所の新設し、その後91灯の設置をしてきましたがその他

の新規の設置については当面の間は行わないとしてきました。

ソーラー式の防犯灯は平成30年に発生したブラックアウトのような停電時にも有効と考えられることから、今後設置箇所等ソーラー式の防犯灯について、地域の意見をこり入れながら研究を重ねてまいります。

再質問

不審者対策としても明るさは必要であり、町内会の協力をお願いするのも必要ではないでしょうか。

町長答弁

再度検証しながら協議を対応できるよう考えていきます。



「民族共生の未来を切り開く」決議

議員から決議案が発議され、定例会において

審議の結果可決されました。

提出者 熊倉 重樹 議員

アイヌ文化の復興・発展の拠点としてウポポイ（民族共生象徴空間）が北海道白老町ポロト湖畔に、4月24日誕生する。

先住民民族アイヌを主題とした日本初の「国立アイヌ民族博物館」と「国立民族共生公園」等からなるこの施設は、国では年間来場者100万人の目標を掲げ、道内においては官民一体となつて誘客活動に取り組んでおり、道内各地のアイヌ文化振興の取り組みや食・観光等の地域の多様な魅力とつなげることににより、国内外への総合的な情報発信の強化となり、国民理解の促進が大きく期待される。

また、北海道を訪れる観光客のさらなる増加は、新たな産業の創出・既存産業の活性化など相乗効果も期待されるところである。

よつて、中標津町議会は、ウポポイ開設を機に、アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現が図られ、北海道が魅力ある大地であり続けるため、中標津町民の協力を得て「民族共生の未来を切り開く」決意をここに表明する。

以上、決議する。

令和2年3月12日

北海道中標津町議会

広域連合・一部事務組合の議会報告

2月28日開催（広域連合のみ2月26日開催）

根室北部廃棄物処理広域連合

（構成町：中標津町、別海町、標津町、羅臼町）

- 令和元年度一般会計補正予算
25万6千円を減額し、予算総額9億9,267万4千円
- 運営に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 令和2年度一般会計予算総額
9億8,320万円
- 根室町村等公平委員会委員の選任について

根室北部衛生組合

（構成町：中標津町、標津町、羅臼町）

- 令和元年度一般会計補正予算
1,598万9千円を減額し、予算総額4億1,274万円
- 令和2年度一般会計予算総額
4億492万8千円
- 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定について
- 根室町村等公平委員会委員の選任について

中標津町外2町葬斎組合

（構成町：中標津町、別海町、標津町）

- 令和2年度一般会計予算総額
8,270万8千円
- 職員の服務等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 職員の勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 職員の給与および旅費等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 根室町村等公平委員会委員の選任について

根室北部消防事務組合

（構成町：中標津町、別海町、
標津町、羅臼町）

- 令和元年度一般会計補正予算
94万4千円を減額し、予算総額18億6,513万5千円
- 令和2年度一般会計予算総額
17億3,767万円
- 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定について
- 職員の分限に関する手続き及び効果に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 職員の懲戒の手続き及び効果に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 職員の育児休業等に関する条例の全部を改正する条例制定について
- 職員等の旅費に関する条例の全部を改正する条例制定について
- 根室町村等公平委員会委員の選任について

人事案件

氏名

令和6年3月1日から
令和2年4月1日まで
半田雅代氏



◆根室町村等公平委員会委員の選任について同意しました

氏名

令和5年3月22日から
令和2年3月23日まで
佐々木富昭氏



◆固定資産評価審査委員会委員の選任について同意しました。

議会改革に向けた取り組みについて

令和元年12月定例会において、「議会改革特別委員会」を設置し、委員会では議員定数も含めた議会活性化に資する議論を行っているところです。

今般、**定数問題**については次の選挙が迫るなか、その方向性をいち早く町民に知らせる必要があるとして本年2月26日に中間報告を受けました。

中標津町議会議長 後 藤 一 男

議長への中間報告

令和元年12月13日付けで付託された「議会改革特別委員会」において、最大の焦点となっていた議員定数について、議員アンケートで全議員の意見を集約し、令和元年12月24日、令和2年1月14日、29日、2月25日の委員会において集中的に審議したところ、概ね削減に賛成する意見が多数でした。

しかし、本年8月の改選期までの期間が短すぎることに、更に定数に関しては、議員報酬や委員会構成も同時に議論を進めなければならず、これに足るだけの時間的な余裕がないことから、本委員会においては**現行18人**とし、改選後に再度「議会改革特別委員会」を設置し審査を継続されるよう要望し中間報告いたします。

議会改革特別委員会 委員長 江 口 智 子



平成28年に議会へ報告された第2次議会改革の審査項目は8項目でありました。

議員定数

政務活動費

会派制の導入

通年議会・
通年会期制

議会のICT化

議会モニター制の導入
※導入済

常任委員会の活性化

議員報酬

昨年12月の第一回委員会において、すでに実施されている議会モニター制を除く7項目のうち、**特に議員定数については、かねてからの新聞報道等もあり、3月定例会までに議論を急ぐべきとの結論に達しました。**

本年1月以降の委員会での審議を進める一方で「議員アンケート」を行い、定数・報酬・委員会構成・その他について全議員の意見を集約しました。

議員定数に関しては「**削減すべき**」との意見が多数であったが、その時期については、

- ・一般的に定数削減は改選の1年前までには決定し、十分に周知期間を設ける事とされている。
- ・定数が変わることにより、委員会構成等についても同時に検討すべきである。
- ・議論を尽くすに足るだけの時間的な余裕がない。

以上のことから、本委員会においては**現行の「18人」**とし、本年改選後、速やかに再度、「議会改革特別委員会」を設置し、議会改革全般について審査を継続するよう議長に要望しました。



議会改革特別委員会として、議員定数以外の委員会構成等についても審議を継続し、6月定例会で最終報告をすべく、『議会改革』に向け更に積極的な議論を重ねていきます。

常任委員会活動レポート

議会には3つの常任委員会があります。定例会から次の定例会が開催される間を「閉会中」といい、各常任委員会はこの間を活用し、所管する事項とその他案件の調査をしています。主な調査事項を報告します。

総務文教 常任委員会

総務部

●北方領土返還署名活動について

2月9日、なかしべつ冬まつりに合わせて文化会館町民ロビーで署名活動を行いました。



北方領土署名活動

●町有財産の管理について

昭和52年に建設された西児童館は、老朽化で改修工事が難しいことから、鉄骨造りで耐震工事もされている現泉保育園にその機能を移し、利活用を図るために建物並びに土

地の一部を購入するとの報告があり議論しました。

●会計年度任用職員について

町の現行嘱託職員の職を国の政策により、会計年度任用職員へ移行するものです。

職種により勤務形態、報酬等が異なりますが、身分は一般職の地方公務員となり、年度当初は74名の会計年度任用職員です。

教育委員会

●中標津農業高校の通学バスについて

令和2年度は生徒数が113名、バス利用75名と推計。元年度同様、2回の分乗にて対応可能と考えている。バス時間の変更や増便は困難との報告があり、議論しました。

●計根別幼稚園満3歳児受入体制について

計根別地区の子育て支援に関する要望で、現在4月2日時点で3歳以上を受け入れているものを満3歳到達時点から受入を行う体制が整うとの報告がありました。

委員会開催 2月9日
2月13日

(佐藤 武志 議員)

厚生 常任委員会

町立病院

●管理運営について

1月末の入院患者数は前年度対比820人減の2万5千989人、外来患者数は前年度対比378人増の12万4千169人です。入院診療患者数は落ち込んでいるが、入院・外来合わせた診療収入では、4千87万2千円の増の21億7千752万2千円です。
5千716万9千円の資金不足額が生じ一般会計から総額15億4千836万1千円の繰入となりました。

町民生活部

●中標津町プレミアム付商品券事業について

消費税10%の引き上げに伴い、家庭の負担軽減と消費の

下支えのため、住民税非課税世帯と乳幼児のいる子育て世帯が対象のプレミアム付き商品券の申請審査と商品券販売・換金状況などの報告を受けました。

●子育て支援事業について

新事業の「子育て世代包括支援センター事業」では保健センターと児童センターみらいを実施場所とし保健師・保育士等を配置し、妊婦・出産・子育てに関する相談を受け包括的な切れ目ない支援をおこなうようになり、令和2年度末までには実施を考えています。

●児童館の管理運営について

ここ数年、なかよし児童館・西児童館の土曜日の利用が少なくなっていることで、令和2年4月より土曜日は「みらい」の「えみふる」を拠点として受け入れをします。

また、昭和52年に建設された西児童館の改修工事が難しいことから、現泉保育園の土地と建物を町が購入し、西児童館機能と指定避難所、地域コミュニティ機能を有する施

設として利用するこの報告を受けました。

●中標津町全町内会連合会との懇談会について (12月16日)

中標津町全町内会連合会と現状・課題、今後の在り方について意見交換をしました。

「地域とのつながりが希薄になり町内会に関心はななく必要としない住民」が増えている傾向があるようです。

中には介護等や家庭の事情からどうしても加入できない人もいるのも事実のようです。

今後、自主防災の観点からも町内会の役割は一段と重要になるので、魅力ある町内会を目指し住民と一緒に課題解決に向けて考えていきます。

●中標津町社会福祉協議会との懇談会について (2月18日)

新体制になった社会福祉協議会と懇談会を開催しました。

(一) 数年事業への参加が



社協との懇談会

減少しており、人手不足や会員の減少などで事業の縮小や運営に影響が及んでいます。

事務費やボランティア活動費などへの補助金は年々減少傾向で、介護事業では事業収入と補助金のほかに基金の取崩をして運営をおこなっている現状を聞きました。

今後、将来を見据えた福祉計画の策定や他にはない中標津町としての支援を考えていくべきとの意見が出ました。

委員会開催 2月18日

(水石 幸衛 議員)

産業建設 常任委員会

経済部

●商工会との懇談会について

経済センタービルにおいて商工会会長他5名の役員と懇談をさせていただきました。

商店街の活性化、ポイントカードのあり方、空き店舗対策、道の駅、20年後の



商工会との懇談会

期待等様々な意見をいただき有意義な時間となりました。(令和2年2月3日)

●南知床4町地域雇用創造協議会について

地域雇用活性化推進事業の実施について、事業主旨・経過、事業内容、事業費・目的等の説明を受けました。

中標津・別海・標津・羅臼の4町で事業提案を行い地域活性化に取り組みます。

●中標津町岩谷学園誘致について

学校法人岩谷学園が令和3年4月の開設計画について、同学園本部役員、誘致の会長及びFMはなバーソナリティによる対談を行い、広く周知を図るとして放送予定日令和2年2月25日、約20分間放送するとの説明を受けました。

建設水道部

●上下水道事業について

営農用水道料金を2段階に分けて値上げする事に決まったとの報告を受けました。

●大規模盛土造成地変動予測調査について

調査が一定程度終了したので、該当地域のマップが作成されております。

このマップの公表は国の事業で公表するものとあわせ3月中旬に公表との報告を受けました。

●町営住宅について

中標津町町営住宅条例・中標津町特定公共賃貸住宅条例の一部改正について

●除雪事業について

2月4日付けで専決処分により5千万円増額

●中標津町道路占用料徴収条例の一部改正について

●中標津町道路構造の技術的基準等に関する条例の一部改正について

それぞれ説明を受けました。

委員会開催 2月20日

(佐野弥奈美 議員)

[illegible]